

# 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

## 【企画財政課長】

これより、令和8年度第1回洞爺湖町史編さん委員会を始めたいと思います。  
本日は、委員全員が出席しており、定数に達しておりますことをご報告申し上げます。  
開催にあたりまして、委員長からご挨拶よろしくお願い致します。

## 【委員長】

久しぶりの編さん委員会の開催で、資料のボリュームの多さに圧倒されたかと思いきや、  
けども、事務局サイドがかなり事務を進めていただいたんだなというところがあります。

今日は1編から10編までの構成案が出ておりますので、それについて具体的な説明  
をいただきながら、1編ごとに皆さんからのご意見やご質問等をいただきながら進めてい  
きたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

## 【企画財政課長】

ありがとうございます。

それでは委員長が議長となりまして、この先の議事を進めていきたいと思っておりますので、  
議長よろしくお願いいたします。

## 【委員長】

ではまず事務局から説明をお願いいたします。

## 【事務局】

まず、報告第1号です。

洞爺湖町史編さん業務四半期報告の1ページをご覧くださいと思います。

これにつきましては業務委託先の須田製版から3ヶ月ごとに業務報告を出していただ  
いております。

1ページ目が、昨年の10月から12月分の内容でございます。特に問題がないのです  
が、1点だけ補足的に説明したいと思います。

2番目の須田製版より第7編、第9編の資料要望リストの提出とあるのですが、その  
右側、課題と改善策です。第7編の地域生活の変遷については、執筆者とヒアリングシー  
トを作成し、各分野の団体様へインタビューを依頼する予定としているんですけども、対象  
を絞り込んでいるんですけども、非常に難しい部分がありましてこの内容については、今後変  
更にしていこうと考えてございます。これについては詳細項目案の中でも改めて説明させ  
ていただければと思います。

2ページ目をご覧ください。これは本年の1月から3月の業務報告になります。3番  
目の須田製版より第1編分の資料要望リストの提出というのがあって、課題と改善策に洞  
爺湖町生物多様性基本計画(案)は完成しましたらお送りくださいというのがあります。

お手元の資料で、洞爺湖町生物多様性基本計画というものがございます。また、これに  
附属して洞爺湖町生物確認リスト作成についてというのがあります。

洞爺湖町は独自に動植物の調査をしてないんですね。このリストは皆さんには数ペー  
ジ分しか配布していないんですけど、全部で34ページぐらいになります。

実際には独自に調査を進めてたわけではなくて、1ページ目、2ページ目から書いてあ  
るものは、公表されてるデータを全部拾い上げてまとめたもので、洞爺湖町に非常に関係

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

するものを拾い上げたりリストで、後ほど説明する動植物の章のところで、活用されていくとご理解いただければと思います。この動植物リストについては、事務局の方で手直しする予定です。1 ページ 2 ページの四半期報については、説明を終わらせていただきます。

【委員長】

四半期の報告について、皆様ご質問はありませんか。

【A 委員】

よろしいですか。説明のあった洞爺湖町生物確認リストは、誰が作ったものでしょうか。

【事務局】

例えば環境省生物多様性センターと記載があります。そこで調査して公表したものを全部集めて、その中から洞爺湖町に関係するものを拾い上げたということになります。

【A 委員】

洞爺湖町が独自でやってるっていうわけではないんですね。

【事務局】

独自で調査したのがほとんどないです。古いものは個人的に調査したとか、以前にあったジオパーク推進課で委託して調査したっていうのはあるんですけども、全部ではないんです。ただ、洞爺湖町生物多様性基本計画の策定するにあたって必要だということで、産業振興課が中心になって進めたものです。

【委員長】

よろしいですか。

【A 委員】

はい。

【委員長】

その他ありますか。なければ議事に入っていきたいと思いますが、よろしいですか。

まず、議案第 1 号の洞爺湖町史本文フォーマット案について、事務局から説明をお願いいたします。

【事務局】

それでは、議事第 1 号洞爺湖町史本文フォーマット案についてでございます。

各編に扉を 1 ページ設けるとしてあります。10 編ありますので、それぞれの一番最初に扉ページを設ける。その後ろに写真を数枚、本文は1段組みを予定しています。普通項目及び重点項目ですけれども以前皆様に重点項目をいくつか挙げてもらってます。それも普通項目と一緒に全部1段組みで進めていくということです。

別紙1ですけど、これがイメージで、実際には A4 のサイズになります。1 枚目に第 10 編教育文化と書いてあります。これが扉というもので、これがまず最初にくて、その裏に

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

写真を何枚か掲載する。右側の第2章社会教育からが本文になるんですけど、1段組みになっています。当初は2段組みも検討したんですが、読みやすさで考えると、中学生等の若い人にも読んでもらいたい。そうすると見やすく読みやすい印象がある1段組みがいいのではないかと。これだと文字は若干少なくなるんですけども、写真や表の大きさにメリハリをつけられるということで、結構見やすいと思います。

### 【委員長】

町史の本文をどういった形で作るのかという一つのフォーマットなんですけども皆さんどうでしょうか？まず扉があって、その後写真が何枚かあって、1段組みの各節といえますか、項目の説明が入っていくというところの構成です。

### 【B 委員】

文字の大きさは12ポイントを中心になるのでしょうか。本文は12ポイントということだったと思いますが。

### 【事務局】

12ポイントまでいかなかったと思います。

手元に資料なかったので、後で確認させていただきます。申し訳ありません。

### 【委員長】

そうですね。文字の大きさを後で確認していただくということでその他ありますでしょうか。

これは一つの定型ですから、この形に沿って、綴られていくということでいいと思いますので特になければこれで進めたいと思います。

次が議事の第2号です。洞爺湖町史執筆詳細項目案についてということで、この議案は町史の根幹に関わる重要な内容です。項目は以前審議いただいた項目に沿っていますが、1編から10編とボリュームもありますので、冒頭申し上げた通り1つ1つ皆さんと協議していきたいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。では、まず第1編の自然と風土に関して、事務局から説明願ひます。

### 【事務局】

議案の3ページ、洞爺湖町史執筆詳細項目案についてですが、別紙2で1編ずつ説明させていただきます。この表の説明をさせていただきますけども、左から編になります。次に章があって、内容で右側に内容・備考欄がございます。

2ページ以降開いていただくと、章とか内容のところ、赤字で書いてるところは重点項目、それと、右側に内容・備考というところがあるんですけども、この赤字部分は委託業者とでやり取りした内容が書いてあります。

説明の後で抜けてる項目とかです追加するべき項目があればご指摘いただければと思います。

それでは第1編、自然と風土で序章は町の概要になります。1節を予定してございます。1・洞爺湖町の位置・気候、2・縄文時代から和人の移住まで、3・明治以降の虻田町と洞爺村、4・合併の簡単な経緯について5ページ程度を考えております。なお、当初予定してま

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

した気象については章立てをせずに序章にまとめることとしております。

次に第1章、地形・地質・土壌については、4節を予定してございます。1節地形は(1) 主な山と河川、(2) 地形分類、2節地質は(1) 地質の概要、(2) 山地を作る地質、(3) 丘陵を作る地質、(4) 低地を作る地質、3節土壌は(1) 土壌の分布概要(2) 地域ごとの土壌特徴の項目です。4節は洞爺湖カルデラ・有珠山の地形、地質でございます。

右の備考欄を見ていただきますと、洞爺湖町の内容に特化は可能かという質問した訳ですけれども、洞爺湖町に限定しての執筆というのは、難しいのではないかなと思ったところです。執筆は、地質研究所の廣瀬先生が担当していただきます。この部分は先生の専門分野でございますので、しっかりと対応してくれると考えているところでございます。

次に第2章、動植物です。4節で構成してございます。洞爺湖温泉地区、虻田地区、洞爺地区の各地区ごとに記載してまいります。4節で有珠山・昭和新山周辺とありますが、実は昨年、絶滅したと言われていたタカネハナワラビという植物が見つかったということが新聞等で報道されました。発見場所は、有珠山の山麓で、実際には壮瞥町なんですけど有珠山周辺ということでこれも取り上げたいと考えてございます。

次に、第3章、環境保護です。洞爺湖町の自然環境保護活動について記述します。

ここでは、1・活動の歴史、2・ウチダザリガニの駆除、3・中島のエゾシカ問題、4・洞爺湖町生物多様性基本計画に加え、プレジャーボート対策についても予定しているところでございます。資料に記載はないんですけども近年も全国的に出没が増えているクマ対策の状況についても、書いていただくようお願いしようと思っております。各章ごとのページ数は明示されてないんですけども、1編全体で34ページを予定しているところでございます。説明は以上でございます。

### 【委員長】

まず第1編の自然と風土についての概要を説明いただきましたけど皆さんから要望等がございましたら、質問でも構いません。

各章ごとに書かれる方は執筆される方が違うということでもよろしいんですね。分野が違いますよね。

### 【事務局】

資料の第1編、自然と風土とあるその横に、例えば序章は、伊藤哲也さん、1章は廣瀬さん、第2章は福島さん、第3章は小川さんと書いております。この先生方については以前、皆さんにご紹介しております。

### 【委員長】

よろしいですか。どうですか。

まず、1編についてはこの方針で進めていただくということで、書かれていかないことには多少わからないことがあります。どの編もそうだと思うんですけどもそれはそのときに何か違和感があれば修正をかけていくことも可能だと思いますので、まず方針としてこの内容で進めるということで、よろしく願いいたします。

次の第2編、合併前史について説明をお願いしたいと思います

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

### 【事務局】

第2編、合併前史です。執筆者は第1章が柴田美幸さん、第2章が井上美香さんです。現在、当別町史や伊達市史を執筆されています。

第1章は明治以前の洞爺湖町域になります。第1節で、縄文・続縄文・擦文とありますが、備考欄にあるように、ここは概略ということになります。備考欄に旧石器時代についても執筆してほしいと事務局から要望してございます。これについては、虻田本町地区、洞爺湖温泉地区では、旧石器時代の石器は見つかっていないのですが、洞爺地区で見つかったのでその部分を概略の中に入れて欲しいということでお話をしてございます。

第2節はアイヌ文化、第3節は近世について記述します。虻田場所、アイヌコタンなどの記述を行う予定でございます。資料に記載はありませんけども、虻田有珠牧場についても入れてもらおうと思っております。この章は16ページを予定してございます。

次に、第2章、旧虻田町と第3章、旧洞爺村についてですが、両方とも明治・大正・昭和・平成、合併までの経緯等を概略的に記述しますが、旧虻田町は物語虻田町史以降、旧洞爺村については、洞爺村史以降に重点を置いて書いてもらうということで、この章はそれぞれ旧虻田町、旧洞爺村とも46ページを予定しているところでございます。以上でございます。

### 【委員長】

それぞれの町史も含めてですけれども第2編は、合併前史ということで合併前の市町村の歴史を綴るということになるとは思いますが、何か質問等ございますか。

### 【C委員】

執筆者の井上美香さんが第2章から第2章となっているんですけど、第3章でいいですか。

### 【事務局】

そうですね、すいません。井上美香さんが第2章から第3章です。

### 【委員長】

旧石器時代の記述は可能なんですか。

### 【事務局】

可能です。石器の見たい目は石ころみたいなものなんですけど、見つかったところが大原の畑なんです。教育委員会の社会教育課長が10何年前に論文として発表していますので、その論文を中心に書いてもらえればと考えています。

### 【委員長】

どうでしょうか皆さん、合併前の歴史というところですけども、すごく長い時間をさかのぼりますからこれを何ページかに綴るということで、特に最初の部分はすごく大変じゃないかなと思います。皆さんからご意見なければ、この内容で進めていくということをお願いしたいと思います。

次に第3章、新町の行政・議会・自治活動について、説明をお願いいたします。

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

### 【事務局】

第3編、新町の行政・議会・自治活動でございます。

執筆者の金子さんにつきましては、月刊誌 HO の編集をされておりました。現在は独立して編集とか執筆活動を行っており、執筆経験は 18 年以上になります。今は、当別町史を執筆している方です。

第 1 章につきましては合併です。これは重点項目になります。合併の背景、合併協議会、住民投票、豊浦町の離脱、新町建設計画、地域審議会等で構成します。14 ページを予定してございます。

第 2 章については各種計画でございます。まちづくり総合計画の変遷、地方創生総合戦略を中心に記述してまいります。財政健全化計画、行財政改革計画につきましては、第 3 章、健全財政の中で記述を予定、合併 10 年・20 年の検証というのがあるんですけども、検証自体が町として公式的に行ったものないので、今のところ町史編さんとして独自に作るかどうかというのがあるんですけど、なかなか難しいと考えてます。この章については 14 ページを予定してございます。

第 3 章は財政の健全化です。各会計の決算、基金、残債、財政健全化への道のりなどから、財政状況を明らかにし、財政健全化にどのように取り組んできたかを記述します。備考欄に基本的にはリストと書いてございますが、事務局としては、財政健全化計画、行財政改革を単純に載せるのではなくて、健全化脱却までの中身をしっかりと記載してもらおうと考えているところで、8 ページの予定でございます。

第 4 章、町議会です。町議会体制や議会活動について記述します。備考欄にありますように、選挙結果につきましては、基本的に資料編で扱いますので 4 ページとさせていただきます。

第 5 章は自治会活動でございます。自治会の向上、自治会の活動について記述する予定ですけれども、単位自治会の資料が手元にないので、自治会連合会の活動が中心になります。4 ページを予定してございます。説明は以上でございます。

### 【委員長】

自治会や自治体についての内容の編ですけども、皆さんの方から何かご意見ご質問ありますでしょうか？

### 【D 委員】

合併についてなんですけれども、国の動き、旧町村の動きというふうに記載されていて、平成の大合併ということですのでよね。胆振東部でも合併している動きがありますので、胆振全体の動きとして多少触れておいた方が道内的な動きとして少しは鮮明に出来る部分と考えますので、記述の検討をいただければと思います。

### 【事務局】

そうですね。西胆振だけじゃなくて東胆振も含めて、この地域全体の動きがどうだったかっていうことも入れていかおかなければいけないと思いますので、貴重なご指摘いただきましてありがとうございます。

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

### 【委員長】

その他ありますでしょうか。確かに合併っていうのは全部国全体で動いた、いわゆる合併圧力があつたと思いますので、その辺も含めて洞爺湖町はどうだったのかということは書き留めておく必要があるのかもしれないなという気がします。

合併に対する検証は難しいところですが、やはりその通りだろうと思います。誰が検証するのかという話になりますので。成果とか、あるいはその反省とかいろいろなことを書くのは書かれる方のすごい負担になるだろうなって気がします。

### 【事務局】

検証するにしても、やはりその材料が当然必要になります。その材料をどのように作っていくかですが、材料があればできると思います。この委員会の中で検証するかという話になるかもしれませんが、それは場所が違うという気がします。

そうするとやはり町が中心になって、本来はやらなければいけない。各界の人に集ってもらっていろんな話を聞くということが必要だと思いますが、今、町としてそこまで考えてるかという難しいと思います。

10年で検証をやっていなければいけなかったんだろうなと思います。まちづくり総合計画と若干かぶってくるところもあるのかもしれないんですが、個人的には、10年目で検証して、次の10年に向かっていくという感じだと思うんですね。ただ、実際にはそういうふうには動いてはいないようです。まちづくり総合計画を具体的にしっかり見たことがないので申し訳ないんですけども、その辺り企画財政課長いかがですか。

### 【企画財政課長】

まちづくり総合計画は今、第2期まちづくり総合計画で、令和8年度、今年度いっぱい2期は終了します。

第3期、向こう10年の計画を今策定中で、令和9年4月から新たな計画でまちづくり総合計画を始めるということで進んでいます。

### 【事務局】

新町になってからの10年、20年ということでいけば、第2期をつくる時点でどんな振り返りがあつたでしょうか。

### 【企画財政課長】

合併して今年の3月で20年の節目を迎えましたけれども、1期目の総合計画からもうまもなく20年になります。合併してから10年の2期目の策定に当たっては、自分は担当ではなかったんですけど、当時の資料を振り返ると、合併10年を振り返りっていうことで次の新町に向かってどのようなまちづくりを進めていくかというのを体系ごとに進めてきたという経緯があります。

合併して20年になりますけど、当時の時代背景等もかなり変わってきております。特にデジタル化やAIといった動きも国の動きにも連動して、洞爺湖町もそれに倣って進めています。現在はいろいろな業種の人もちまちづくりの中にも入り込んできてますので、そのあたりの視点も含めて向こう10年のまちづくりを今後どのように進めていくか。また、人口はどんどん減少していて、今7,700人ぐらいですけど向こう10年だと6,000

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

人台ぐらいには落ちてくると思えますので、人口の減少幅をできるだけ緩やかにするための施策とか取り組みとあわせて、人口減少にも対応できるようなまちづくり、組織体制、どうあるべきかということも今考えて計画を策定中でございます。

### 【事務局】

第2章で各種計画というのがあるんですが、そこで最初のまちづくり総合計画と地方創生総合戦略、ここで最初の第1期が終わった時に、第2期に向けてのいろいろな議論があったと思います。その議論の中身がある程度ここで掴めるかも知れない。第2章の各種計画は基本的には計画の詳細まで踏み込みまず概要とします。この段階で計画の中身から拾って、第2期のまちづくりに向けて合併10年がどうだったんだろう、今回で第2期が終わりますけど、第3期に向けてまちづくり審議会の中でどんな検証がされるのか、そういうのが出てれば、それを使えるかも知れないと思いますね。

### 【委員長】

10年ごとの節目で、まちづくりの計画が今までを振り返りながらこれからの10年というのを策定してると思います。それは公に出しても構わない内容になっているはずなんでそういったものをベースに、まとってるものがあれば出しておいた方が何かいいのかなという感じがします。

当然、計画通りいってないこともたくさんあると思いますし、計画外でできたこともあるかもしれませんが、合併後の成果というのかそういったものはまとめておいた方がいいのかなという気がします。

### 【事務専門員】

まちづくり審議会の記録は残ってますか。

### 【企画財政課長】

はい全部残ってます。

### 【B委員】

途中途中で見直しはかけていますか。

### 【企画財政課長】

5年サイクルの前期と後期とに分けて見直してます。この10年間、第2期の振り返りも検証もしてまして、各政策というかこういう事業でやっていきますということが盛り込まれてるんですけど、果たして事業の結果がどうだったのかを検証も含めてやっておりましてそれを次の第3期に繋げていくということで進めています。

### 【D委員】

よろしいですか。検証というところに少し違和感を感じるんですけども、町史を編さんするうえで各計画に対する内容がどうだったのかという検証に踏み込むのは越権というような気がします。こういう計画があったとか、誰が評価したという事実関係を記載するのはいいと思いますが、内容に対して、良いとか悪いとか、議論がどうだったのかとい

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

う経緯までに触れるべきではないと思います。

10年スパンで時代とともに変わっていくというのは当然のことであって、30年後40年後に町史を見たときに、こういう計画があったということがわかるように記述するだけで、それに対する評価、良いとか悪いとかというのは町史編さんの中ではあえて触れるべきではないと思います。

それは20年後30年後に、当時の政策がこうあったけれども、今はこういうやり方をしているねということだけ留めておくものじゃないかなと。それでないと他のところにも波及してきたら、町史を作り上げていくところから逸脱してくるんじゃないかなと私は感じたんですが、そうではないよということであれば全然問題ではないんです。私の理解の仕方が悪かったのかもしれないですけどそこが気になります。

### 【委員長】

要するに、評価までは及ばないということですね。総合計画とか、こういう計画が出されたところまでの記述で、その計画がどこまで進捗したかというのはあえて触れないということよろしいですか。

### 【D員】

私はそう思います。ボリューム的な部分もあると思いますが、まとめるなかでもどこで留めておくのかということです。

### 【企画財政課長】

D委員が言われたように、総合計画の策定段階では検証は必ず必要な作業ですのでそれはやってますけども、この町史に関しては、今言われた通り、時系列でこういう計画があったということの記述のみで留めておくということよろしいでしょうか。

### 【事務局】

検証としてこうあるべきだというものを記述するつもりはないです。

でも実際、ここではまちづくり総合計画を検証という話があったんですけどそれはそれで検証してもらい、その中で、合併が10年たってどうだったんだろう、20年たってどうだったんだろうと色々な意見があると思います。その意見というのは、計画の中に反映させないわけですね。計画は出来上がったものです。

私はそういういろいろな意見を出すことが必要じゃないかなと思ってこういう考えを出しました。皆さんに意見を出し合ってもらって最終的にこういう形にしますというのが計画ですよ。そうじゃなくてその前の段階のいろいろな意見を出すべきじゃないかと、賛成意見もあれば反対意見もあると思います。

実際に洞爺村と虻田町が合併してもう20年ですけども完全な一つの町って本当にいえるのかと考えてる人も結構いると思うんですよ。これを、そのためにはどうしていったらいいかって考えたときにはいろんな意見がないと次に進んでいけないんじゃないかということなんですね。これでこうあるべきだとか、そういうことではなくて、いろんな意見を載せておく方がもしかしたら今後のために役に立つんじゃないか、そのためには、独自にそういうことを振り返ることができないと考えたら、まちづくり総合計画の検証したものを参考にしてはどうかという考えです。

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

### 【D 委員】

私は町史編さんにあたって、そういう問題を投げかけるというか、中に入れるべきものなのかどうなのかという根本的な部分でどうなんだろうと思います。

あくまでも記述というか、事実に基づいて、こういうことがありました、とかこういう課題が残ってますというものを文脈にあまり入れるべきではないと思います。それはあくまでも合併に関わる問題だとか、今後の課題だとかいろいろ検証されて、あの当時成立不成立だとかっていう部分も含めてです。

いろいろな意見とか計画についても、全体計画の何割が執行されていて、まだ未決の部分があります。そういうのも踏まえて10年後に再度見直しをかけて、残されている課題だとかをまた10年の計画の中に入れる、終わったから入れないという整理は別のところでなされるべきじゃないかと考えます。そういう整理にしないと、今までの町史の部分と、全く違う内容で進めなければならなくなってくるような気がするんです。それは町史とは別なところで議論・整理されるべきことではないかなと思います。それでないというんなら場面で、これはどうなんだろうかっていうところで引っかかってくると思います。

### 【委員長】

編さん委員会としては、事実に触れておくことが一番役割を担ったということになるような気がします。ただ、それを読まれた方たちが、こういう計画があったんだな、それで今はどうなってるんだろう、という想像ができるような内容であればいいとは思いますが、こちらが判断するにあたって、その辺りをどこまで表現するのかというのは非常に難しいことなんだと思います。本当にやれるとしたら、D委員が言われた通り、総合計画の中でこういう計画が出されました、というように終わっておくのが無難といえば無難なのかなと思います。他の方はどうですか。ご意見あれば。

### 【E 委員】

我々は町史編さんという立場なので、計画の結果的なところまで踏み込まない方がいいんじゃないかと私は思います。そういうことがあったところまではいいのですが、それ以上踏み込むと、結果まで出さなければいけないような感じになってしまうので、難しいと思います。

### 【委員長】

F委員はいかがでしょうか。

### 【F 委員】

読む人によって考え方が変わるでしょうから、こう決めたってなんだこういうものかで終わってしまう人もいれば、もっと突っ込んだ方がいいのではないかと人もいると思うんですよ。いろいろな性格の人が読むわけですから、それはどういうふうになるかわかんないと思うんですよね。皆さんがどう感じるかっていうのはそれぞれ個人個人の考え方だと思いますので、私たちの考え方の中でどこで線を引くかということだと思います。

それは多分いろんな方の考え方があると思うんですけど、多分もっと突っ込んだ方がいいんじゃないかという事務局のような考え方もあると思いますし、そこまで行く必要ないんじゃないかという、D委員のような考え方もあると思います。

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

編さん委員会で決めなきゃいけないというのであれば、この委員会の委員の皆さんがどう考えてるかで決めるしかないのではないかと思います。どっちがどっちとは言えないんですよ。読む人によって考え方多分変わるでしょうから。

【委員長】

C 委員、どうでしょうか。

【C 委員】

やはり町史ですからあったことの実を端的に書いてあって、その後は読み手側のことなので、それ以上のことは必要ないのではと思います。

【委員長】

評価的なものには一切触れないということで、よろしいですね。

A 委員はいかがでしょう。

【A 委員】

私もその考えでいいと思います。

【委員長】

温度差は多少あるでしょうし、お互いの認識とはちょっと違うと思うんですけども、まちづくり総合計画というものがもう既にあるということなので、そこで表現されたことを使えるものかどうかということは一度この場で見ていただくということはあっていいのかなという気がしますので、そのような形で進めたいと思います。

今までの合併の経過とその成果みたいなものを誰が検証したのかということになりますので。それでも次の計画を作るためにきちんと検証は行っているし、次の計画を作るために当然それは必要なことなんだろうなと思います。ただし、それを町史に反映させるかどうかは内容を見て判断させてもらうということでもいいのではないかと思いますし、そういうところで留めておきたいと思いますのでよろしくお願いします。

その他ありますでしょうか。3編の新町の行政・議会・自治活動についてどうでしょう。大丈夫ですか。それでは次の4編ユネスコ遺産に入りたいと思います。

【事務局】

第4編、2つのユネスコ遺産です。これも重点項目でございます。

第1章ではジオパークを扱います。洞爺湖有珠山ジオパークについて、認定までの経緯、活動内容、主な施設について記述しますが、実は詳細項目が書いてないんですね。ただ、備考欄に記載していますが、5月中に廣瀬先生から原稿が上がってくる予定です。

廣瀬先生自体が先ほど地質の方でも書いていただくことになってますけども、ジオパークの学識顧問で、ジオパークのことは、ほぼ理解されてる方ですのでそこを踏まえて皆さんと見てみたいと思います。

続きまして第2章、入江・高砂貝塚です。これも、認定までの経緯、活動内容、主な施設について検討します。詳細項目としては、北海道・北東北の縄文遺跡群認定までの軌跡、世界遺産登録までの経緯、入江・高砂貝塚の位置づけ、ボランティア団体の活動実績、公園

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

の整備と貝塚館のリニューアルなどを記述するところがございます。

入江・高砂貝塚以外の遺跡については、先ほどお話のあった合併前史のところの1章の明治以前の洞爺湖町域というところで扱ってもらおうと思っております。各章とも16ページを予定しているところがございます。以上です。

### 【委員長】

ユネスコ遺産が2つあるということで、そのことは触れておきたいと思っております、これについて何かご意見ありますか。これは多分ないと思っております。洞爺湖町のよい面ですので、この形で進めていくということで異論はないかと思っております。

次、第5編の産業についてお願いします。

### 【事務局】

第5編、産業です。第1章から4章まで山下恭平さんに書いていただきます。月刊誌でオトンという雑誌の編集部におられた方で、経験は10年、現在は当別町史の執筆をされています。

第1章は農林業です。第1節で農林業の概要を記述します。農産物産出額、耕地面積の変化、農業人口の変化、洞爺湖野菜の特徴を綴っていただきます。第2節は、農業施設として雪蔵野菜貯蔵施設とか馬鈴薯貯蔵施設、人参洗浄選別機などを取り上げます。第3節は地域農業の新たな展開として重点項目のクリーン農業、これを中心に6次産業化、ブランド化などを記述します。第4節でJA洞爺湖の歴史について、合併の経緯、新規就農者支援、青年部・女性部を取り上げる予定でございます。

備考欄の方に一番上に国営畑かん、道営土地改良なども扱う予定ではいるんですけど多くのページは割けないと考えているところがございます。また、同じ備考欄の下の方に林業を追加ということをお願いしています。洞爺湖町は林業が盛んではないんですけども新森林環境譲与税を活用した事業を行っていることから、いろいろなことが書けるだろうということでこれもお願いする予定です。第1章は24ページを予定しています。

第2章の水産業になります。第1節で水産業の概略を記述します。主な魚種ごとの生産額の推移、事業所の概要、漁業従事者の人口の変化、近海で水揚げされる魚介類の変化、洞爺湖で水揚げされる魚介類を取り上げます。第2節は重点項目であるホタテ貝を中心に記述をいたします。その横にナマコの養殖と書いてあるんですけども、ナマコ自体が重点項目ということじゃなくて、ホタテだけに頼らない漁業施策についても取り上げるということでご理解いただければと思います。それから第3節で、大磯漁港整備、水産雑物処理施設などを扱います。第4節、漁協の歴史では、いぶり噴火湾漁協の歴史と取り組み、洞爺湖漁協についてもその歴史と取り組みについて記述するところがございます。この章は20ページの予定でございます。

第3章商工業です。第1節で商工業の概要を説明、第2節、道の駅・水の駅は重点項目としてございます。道の駅とうや湖、道の駅あぶた、洞爺水の駅についてそれぞれ詳しく書いてもらおうと思っております。第3節で商工会の取り組みについてリフォーム助成、チャレンジショップ、コロナ対策助成金を中心に記述していこうと思っております。14ページを予定してございます。

第4章観光でございます。第1節で観光の概要として、入り込み数の推移、新型コロナの影響、洞爺湖町の課題、洞爺湖温泉誕生100年の歴史、観光協会の取り組みなどを記

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

述しております。第2節マンガアニメフェスタについては重点項目です。概要と歴史等について詳しく取り上げていきたいと思っております。第3節は、主な観光施設について記述します。町内には多くの観光施設やイベントもありですので、結構なページ数になると思っております。ここでは、商工会のにぎわいまつりや駅前イルミネーションも扱っていききたいと思います。備考欄に赤字で洞爺湖マラソン、トライアスロン、ツーデーマーチ、産業まつりというふうに書いてございますが、ここにイルミネーショントンネルを入れ忘れましたのでこれも扱ってもらおうと思っております。それと記載がないんですけども洞爺地区の観光について記述を予定しております。洞爺まちづくり観光協会を中心に取り上げるようにします。第4章では24ページを予定しているところでございます。以上でございます。

### 【委員長】

産業について農林業、水産業、商工業、観光業という四つの視点から書き進めていくということですけども、皆さんご意見があればお願いします。

### 【D委員】

4章の観光の概要の中で、洞爺湖温泉のホテル旅館の推移についても記載いただければなと思います。有珠山の2回の噴火によってホテル寮ですとか、旅館等が大きく変貌を遂げた、温泉街自体も3分の1が砂防地の施設になった部分もありますので、その辺りの推移っていうものを入れていただければと思います。観光業に関わる部分で大きく変革があったところかなと感じました。宿泊業の数などをどのように変遷していくとか、また、噴火前は保養所的な施設が山側にあったんですが、噴火災害により砂防地になったことで全部撤収してゼロになったという経緯の話です。

### 【委員長】

そういうのはある程度データで残ってるんでしょうかね。

### 【事務局】

多分、町として資料は持っていないと思います。観光協会でどの程度資料を持っているかということになると思います。当然概略の中には社会的な情勢でどういう変化があったとか、さらに当町でいえば噴火でどんな影響があったか、それによって大きく温泉街が変わってますのでそこは記述したいと思っております。

### 【B委員】

よろしいですか。農林業の農業施設の部分に国営の畑かん施設を入れておかなければいけないと思います。道営の事業もあるんですけども、畑かんの施設となると農業施設としては結構大きい施設なんですよ。総体を含めて100億円以上の施設があるわけですから入れておかなければいけないのかなと思うんです。豊浦町まで含めた施設ですが、そのうちの90%は洞爺湖町の部分になりますので、農業施設の部分にそれを一つ追加していただきたいと思っております。

### 【委員長】

備考欄に国営畑かん、道営土地改良など扱いは小さくとは書いてありますけど。入れる

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

予定ではあるんですよ。

### 【事務局】

入れる予定ではあるんですけども国の事業なのでそんなにページは割けないだろうと。ただ、ページを割ければある程度は記述したいと考えてます。

### 【委員長】

農業施設の中に畑かん施設を掲載するということによろしいですか。

### 【B 委員】

そうです。こういう施設がありますよということでもいいと思います。それと扱いは小さくてもいいんですけども道営土地改良事業の他に道営畑総事業、これは虻田町もやってるんですよ。それと洞爺地区で道営中山間事業っていうのをやってるんですよ。例えば財田キャンプ場にある土間体育館だとか、農業研修センターはこの中山間事業で整備しています。それを少しでいいので盛り込んでほしいと思います。

### 【委員長】

畑かん施設取り上げてはどうだろうかということですね。それと中山間事業に伴うインフラ整備、観光も含めたインフラ整備にあたりますので、そういった方向でちょっと検討していただくということをお願いします。

その他ありますでしょうか？それぞれ皆さんのジャンルが違いますからこれは入れておいてほしいなというのがあれば。漁業の方はどうですか、E 委員いかがですか。

### 【E 委員】

魚介類にしても、施設や漁業設備にしても、合併後のものと合併前からの継続的なものがあって、それを概要の中で取り上げてもらった方が確かにわかりやすいとは思いますが、その辺りをどういう形で取り入れてもらえるだろうか。

合併後のことであればわかるけれども、合併前のことについて例えば養殖であれば、ナマコのほかにいろいろなものがあつたけれど、ナマコの養殖は今もうはやっていません。ホタテの養殖は今も継続していて、他の海産物やワカメ・海藻なども生産しています。合併前からずっと生産しているものは継続して書いてもらえばわかりやすいと思いますが、どのように書いてもらえるのかがわからないので。

### 【委員長】

要するに事業が長年に渡ってずっと続いていることもあるんだということで理解してよろしいんですか。

### 【E 委員】

海産物は今も継続して生産しているものはあるんだけど、水産物ではなくなったものもあります。合併後のことであれば見当はつくのですが、戦前のことは難しいだろうと思いますので、どのような形で原稿が上がってくるのだろうかと思います。組合にもそういう資料はあまりないでしょうね。

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

### 【事務局】

物語虻田町史の産業編が昭和 58 年に出てるんですけども、そこでは昭和 50 年前半ホタテが中心であったとか、それ以前のこととか、いろんな問題があったりとかということも全部含めて書いてはあるんです。また、漁協でも何十周年記念誌のような本を出すということは考えていたみたいなんですけど、結局出なかったんで、旧虻田漁協の合併までの資料ってほとんど残ってません。かろうじて総会資料はもらったんですけども、そこであまり詳しく書かれてないので、どこまで掘り下げられるかっていうのは難しいかも知れません。合併してからの資料はあると思うのですが、それがあれば繋がっていくとは思いますが、正直どこまで書く資料があるかっていうのは、今のところ分かりません。

### 【E 委員】

今の大磯漁港は噴火した後に出来てるんですけども、入江漁港ができるまでの経緯までは詳しくはわからない。その辺りのことは町史に記述があったらどうか。

### 【事務局】

ある程度記述はあります。漁協と町で北海道に陳情を出したのが昭和 40 年の初め頃で、実際に着手から完成までに 10 年くらいかかっています。

### 【E 委員】

入江漁港自体は、最初の計画から完成まで30年くらいかかっているとします。我々が聞いた話では、戦後すぐにとういうことで聞いてるんですけども、そういうことも全然わからないので、もし、わかればそういうことも載せてほしいと思います。

### 【事務局】

そこがなかなか難しいところですが、うまく資料を探し出せばいいなと思います。

### 【委員長】

合併前の歴史が少し希薄というか、わかりづらいところがあるということですね。

事務局の努力で歴史を追っていくしかないと思います。なかなか難しいとは聞いていたんですが、ここでやっておかないと消えさっていくかも知れませんね。

### 【E 委員】

大きな火事があって漁港が全部焼けてしまったものですから、そういう資料なども持ち出さずに焼けてしまったのもあると思います。町でそういうものをまとめたものがあればとは思いますが。

### 【事務局】

物語虻田町史のなかである程度のことは記載されていると思いますので、そこも確認しながらどの程度書けるけるか、新たな資料があればそれも追加しながら、ただ、そのまま書くということにはならないので考えて進めていきたいと思っています。

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

### 【委員長】

あとどうでしょうか。商工業関係とか観光関係で、もしご意見がどうでしょうか。F 委員、大丈夫でしょうか。

### 【F 委員】

大丈夫です。

### 【委員長】

今、皆さんから出されたいくつかの項目を再度検討材料にさせていただくということで、いずれにしても、聞き取りとか資料がなければ書けない世界なんで、そういったものを探っただくってというのが一つ大きな仕事になるかと思いますが事務局の方で本当によろしくお願ひいたします。

では、次入ります。第 6 編、福祉・保健・医療ですね。それでは説明をお願いします。

### 【事務局】

6 編の第 1 章は医療と保健になります。新型コロナの対応および検証が重点項目となります。国・道の体制や補助金、町の対策支援事業とその顛末等を記載する予定になっております。2 として医療体制について記述する予定になってまして町内の医療機関 2 次医療圏等の記述になるかと思ひます。保健所というところを記載があるんですけどもこの部分については新型コロナの対応の部分がほとんどだと思ひますが、その旨申し入れる予定です。以上、18 ページの予定になります。

第 2 章で福祉を取り上げます。第 2 章 1 で地域福祉計画を取り上げます。2 で町社会福祉協議会の概要と取り組みと、障害者・子育ての各種支援を取り上げる予定です。

続いて 3 で高齢者支援と生活保護について記述します。項目に記載の内容は、町内の福祉施設についてここで扱っていただきます。以上 10 ページを予定しています。

第 3 章が社会保険になります。介護保険、国保、後期後期高齢者保険、国民年金についてその概要・歴史・現状について全 4 ページで記述する予定です。以上になります。

### 【委員長】

どうでしょうか。福祉・保健・医療ということになりますけども、これについて特にありませんか。なければ、とりあえずはこの方針で進めていきたいと思ひます。

次、第 7 編の地域づくりと交流ですね。よろしくお願ひいたします。

### 【事務局】

第 7 編地域づくりと交流です。第 1 章が地域生活の変遷なんですけれども、ここに(?)マークがついているんですがこの部分の内容について執筆者と業者さんと事務局の方でもう少し内容の方を検討させていただきたいと思ひます。

ライターからはとりあえず町民主体の地域おこし、外国人材の受け入れについて記述したいという意図があるんですけども、この内容を含めて事務局で少し検討していきたいと思ひます。

備考欄に地域活性化起業人 ANA あきんどと協定とあるんですけども、どこに入れるべきかとありますが、これは次の第 2 章の方で取り扱ってまいります。この第 2 章の地域振

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

興なんですけども、地域おこし協力隊、酪農学園大学との地域総合交流協定、住民サービスのデジタル化等を主に、さらに先ほどの地域活性化起業人や、パナソニック ITS にも協力いただいています。他にも項目にない北海道科学大学との連携協定、洞爺湖町応援団、ふるさと応援大使等も入れていただく予定です。4 ページの予定です。

第 3 章で G8 サミット開催になります。G8 サミット開催が重点項目になります。記載の 1 誘致活動から 9 の洞爺湖サミットのレガシーまで 9 項目までの記述とします。国が主体の国際会議になるんですけども開催地の洞爺湖町としての取り組み、町民推進会議の活動が中心になります。全 10 ページの予定です。

第 4 章が交流になります。1 の国際交流として、洞爺国際交流協会英国青年ボランティア、2 として姉妹都市の箱根町との交流、3 として友好都市三豊市との交流を記述する予定です。ここで三豊霊園合葬墓とあるんですけども、これは削除していただきたいと思います。代わりに三豊市から寄贈いただいたちょうさ(太鼓台)の内容をここにに入れていただく予定です。4 の友好湖については現在、交流が途絶えている状況になりますので資料を探して簡単な紹介に留めておく予定で、8 ページの予定になります。以上となります。

### 【委員長】

ボリュームのある地域づくりと交流です。改めて幅広くやってるんだなっていう、何かご意見がありましたら。

中国との交流は今もう全くはないんですか。何年ぐらいとか。

### 【事務局】

中国で友好の中心になってた方が亡くなったとか何かで、途絶えてしまったようです。

### 【委員長】

それも事実ということであれば、一般的にこれやってたのになぜやめたんだらうっていうのが素朴な疑問として起きてしまうので、触れられる範囲で全然構わないと思うので残しておいた方がいいと思います。あとはどうでしょうか？よろしいですか。

それでは、地域づくりと交流はこのような形で進めていきたいと思いますので、よろしくお願いします。次に第 8 編の生活環境について説明をお願いします。

### 【事務局】

第 8 章、生活環境です。これの第 1 章が都市計画になります。1 として都市計画区域、2 として準都市計画と都市計画マスタープラン、3 として土地利用について、4 として景観計画を入れてもらいます。

第 2 章が住宅と上下水道となります。1・町営住宅、2・上水道、3・下水道の整備状況および計画料金体系の記述になります。

第 3 章は環境です。1 衛生環境ではゴミ処理、し尿の処理、リサイクルセンターと一般廃棄物処理計画を記載します。2 火葬場・墓地では火葬場・合葬墓について記載する予定です。3 の環境政策で環境基本条例、さわやか環境条例、環境宣言、ゼロカーボンシティ宣言、地球温暖化対策実行計画について記載します。

第 4 章が公園緑化になります。1 公園整備として噴水広場、月浦運動公園、洞爺高校メモリアル公園の整備について記述します。次の緑化なんですけども、サミット記念の森・植

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

樹活動について記述する予定です。3の景観計画についても削除していただければと思います。国道沿いの花壇整備、花と緑のまちづくり推進委員会活動についてもここで入れていただく予定です。

第5章が道路河川になります。1の道路では町内の道路、国道230号新ルート、移設の虻田洞爺湖インターチェンジの開通について記述します。2の橋梁では町内の橋梁、伏見橋の崩落、長寿命化計画について記述します。3では河川の改修事業について記載する予定です。

最後、第6章の運輸通信です。1公共交通ではバス事業・ハイヤー事業・コミュニティバス、ライドシェアタクシーについて記述します。2の交通政策では地域公共交通計画、交通支援策について書きます。3の鉄道ではJR洞爺駅自由通路について記載します。ここで洞爺湖町の郵便事業なんですけども、これは次の項目4に入れる予定になってます。4の通信では電話事業、地域FM、wi-radio(ワイラジオ)、インターネットの整備状況、郵便事業についても記述する予定です。第8編については、それぞれ6ページの予定になります。以上になります。

### 【委員長】

生活環境ということで幅広いんですけども、一番身近に皆さんが肌で感じてる部分だと思いますので改めて確認するという内容になるんじゃないかなという気がしますが、どうでしょうか。何かご意見ありますか。

上下水道ってというのは、寿命ってというのはあるんですか。何年ぐらいで見直しをするとか。今、洞爺湖町はどのような状況にあるんですか。

### 【企画財政課長】

今は相当老朽化しています。昭和40年代に整備したものが、もう軒並み老朽化を迎えています。長寿命化計画を作っていて、それに基づいて整備してる段階です。

### 【委員長】

上下水道って、身近なインフラですからね。それが使えなくなったりすると大変です。大事なインフラが整っているということはきちっと伝えておく必要あるのかなという気はします。

では、次の第9編治安と防災について説明をお願いします。

### 【事務局】

第9編、治安と防災になります。第1章が治安です。1の防犯で国民保護計画、非核平和の町宣言、暴力追放、防犯のまち宣言、暴力団排除条例、交番・駐在所・事件事故の件数、防犯協会について記述します。

2の交通安全、交通安全のまち宣言と防犯交通安全マップ、通学路等安全推進会議、交通安全町民運動推進委員会、交通安全協会等について記述します。6ページの予定になっております。

第2章が消防と救急になります。1が消防で消防機構の変遷、消防庁舎と機材の配置や消防水利、あとは火災の件数、消防団、民間防火組織についての記述になります。2、救急で通信指令業務の一元管理、救急出動、救命講習会、新型コロナウイルス対策本部の設

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

置についても記述します。これも 6 ページになります。

第 3 章が防災重点項目になります。2003 年に物語虻田町史別巻に 2000 年噴火その記録と教訓というのを発行していて、噴火体験を行政機関と議会、産業、住民の視点から次世代に伝えるために作成されたものですが、これが 2000 年噴火の噴火後 2 年ほどの記録になります。ですのでここでは、その後の防災全般にわたる計画、施設整備訓練等の状況を記述していきます。内容が1、有珠山の噴火史、2が 2000 年噴火の教訓、3洞爺湖有珠火山マイスター、4 地域防災計画、5で 21 世紀の災害記録、6 防災組織、7でハザードマップ、8 で次の災害に備える、9 で広域連携の取り組みについて記述します。

備考欄に記載しているんですけども、エコミュージアム、火山マイスターはジオパークで扱っていますので重複するんですがここでも書いていただく予定です。あとwi-radio (ワイラジオ)についても重複するんですが防災でも取り扱えればと考えております。これで 24 ページの予定になります。説明は以上になります。

### 【委員長】

治安と防災ですね。特に火山のある地域なので防災については、かなりのボリュームがあるんですが、大事な編ではあると思います。何か皆さんからこういったことも入れた方がいいんじゃないかというものがあればお願いします。

### 【D 委員】

よろしいですか。温泉街にある砂防施設と温泉街の変遷について、この防災で取り扱うのか、それともジオパークで取り扱うのか、その整理を考えていただければと思います。

防災はこれだけのボリュームがあるのでどちらにも触れておいて、主をどちらに持っていかってということも必要になるのかなと感じました。

洞爺湖温泉街、この噴火災害でかなり大きく変貌を遂げた部分、それから防災機能としても、その当時として初めてスリットダムを採用、技術的に取り入れられた地域としてや国内初の防災施設で泥流を止めるってところから逃がしていくという手法に変わった防災対策・防災施設もあるところを強調して整理していただければ、後々の防災につながる部分と感じました。

### 【委員長】

今の内容を書くとしたら、この編の防災のとこですかね。リスクがあるというか山のすぐそばで営みがあるということ、備えみたいなことですよ。そういったものが何らかの形で触れられていくことが防災の中では大事なのかなという気はしました。

### 【事務局】

すいません。確認ですが、2000 年噴火の後に砂防ができて温泉街が変わったとか温泉街の変遷について、もう少ししっかり書いた方がいいだろうということなのでしょうか。それをジオで扱うのか、防災で扱うのかということでしょうか。

### 【D 委員】

温泉街が大きく変わったってところ、防災施設があれだけのものになったこと、取

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

り壊したとか今までにない水無し川といわれる流路工が温泉街に3本できたこと。それと治山関係でも、スーパーダムみたいにせき止めるっていう手法からその少しずつ勢いを弱めていくと手法が変わったのが、あそこの山が初めてですのでそういう部分を扱ってほしいと思います。

### 【事務局】

流路工自体は77年噴火の後にできたもので、基本的には2000年噴火以降のことを考えているんですけども、今言われたのはそういう流路工も含めて、その後の2000年噴火のあとから砂防ダムができたりとか、ハード面で今まではせき止める方法を考えていたから、国なりの考え方として流しながら弱めていくというところによって変わっていったという施設の考え方を入れていくということによろしいですか。

### 【D 委員】

はい。

### 【委員長】

その他ありますでしょうか。なければ最後の10編に入ります。

### 【事務局】

10編、教育と文化になります。第1章が学校教育です。教育委員会制度の変遷、小中学校の統廃合、洞爺高校の閉校、小中一貫校教育、給食センターについて記述します。

老朽化した虻田中学校の虻田小学校への移転、令和10年度を目途に行われる義務教育学校などの最近の動向にも取り組んでいく予定です。20ページの予定になります。

第2章が社会教育になります。体育施設、文化施設文化団体、スポーツ団体について記述します。これが10ページの予定です。

第3章が重点項目でアイヌ文化振興になります。独自のアイヌ施策を中心に国のアイヌ文化施策の変遷と概要、洞爺湖アイヌ協会の活動、アイヌ民族共生拠点施設ウトウラノの設置と活用について記述します。重点項目として、18ページ予定してはるんですけども、そのボリュームに合うだけの資料を準備できるかどうかがありますのでもう少し中身についても考えていきたいなと思っております。

第4章が文化芸術になります。文化財として虻田地区・洞爺地区両地区の石碑・藤棚などを記載する予定です。資料にはないんですけども、ぐるっと彫刻群や無形文化財の獅子舞なども盛り込んでいくように考えてます。芸術への取り組みとして、国際彫刻ビエンナーレと洞爺湖芸術館については重点項目として記述する予定で、14ページになります。

最後は第5章で宗教です。アイヌ民族の信仰、開拓民と信仰をたどっていった現在活動している神社・寺院・教会について、概略を記述する予定になっております。説明は以上になります。

### 【委員長】

教育と文化ですが、どうでしょうか。

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

### 【A 委員】

よろしいですか。第1章になるのかわかりませんが保育所の統合がありますよね。それ  
もどこかに入れといた方がいいんじゃないかなと思います。

### 【事務局】

保育所については教育として扱ってきましたが、町長部局に移ったことと、本来、保育  
業務は福祉になりますので、第6編の福祉・保健・医療の第2章の中に保育所・子育て支  
援センターの中で扱っていかうと思ってます。

### 【委員長】

その他ありますか。

### 【F 委員】

すいません、これ第5章の宗教のところ、洞爺地区にある洞爺寺や八幡神社なども  
入りますよね。

### 【事務局】

はい。入ります。ただ、宗教をどういう形で扱うかというのは結構問題なんです。物語虻  
田町史の教育・文化編の中で結構詳しく書いてありますので、ここではあまりページを取  
らないで概略的なものを載せようと考えます。現存というか実際活動しているものについ  
ては、全部概略的には載せようと思ってます。

### 【委員長】

こういうのがありますよというような記述になるのでしょうかね。実際書き上がってこ  
ないとわからないところがありますが。

その他ありますか。なければ、1編から10編の編集方針について、こういった項目を入  
れていくということを皆さんからのご了承いただきながら、また、ご意見もいただいてお  
りますので、それを書けるようなデータとか資料が揃うかどうかということも一つの課題  
にはなるんですけども、こういったものにも触れてもらいたいという要望がいくつか出  
ておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次は議案第3号ですね。洞爺湖町史の資料編の編集方針についてということで、役職  
者名簿とか年表についての扱いを皆さんと協議したいと思ひますので、事務局から説明  
をよろしくお願ひします。

### 【事務局】

それでは議案第3号、洞爺湖町史資料編、編集方針案についてですが、この方針につい  
ては前回の会議の中で、たたき台として皆様に素案を提示させていただきました。その素  
案を再検討して、改めて提案をさせていただくものでございます。ただ、一部の内容につ  
きましては、案を複数用意してございますので、よろしくご審議いただきたいと思ひます。

まず基本方針でございます。これについては前回の素案と変更がありません。資料編は  
洞爺湖町史本編とは別冊とする。ただし、本編の編集状況によっては、本編内に組み入れ  
ることもある、編集は自前で行う、体裁は本編と同じとする、A4判で100ページ程度、

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

発刊時期は本編と同時期とするというものでございます。

2の掲載内容でございます。一つ目として年表がございます。前回の素案のたたき台として左側の1案になります。その他に2つの案を提案させていただいております。3つの違いは単純に言うと、年代で、どこから書き始めるかということでございます。

1案につきましては、掲載年を旧洞爺村史、旧虻田町史の発行以降として、具体的にいきますと旧洞爺は昭和50年以降、旧虻田は平成13年以降となっております。

第2案はどこから書き始めるかという各町村の開基からで、実は旧町村史にも、実際載っているんですけどもそれも含めて書いてはどうかということでございます。ただし旧町村史の掲載分は非常にボリュームがございます。皆様のお手元に資料編があるんですけど、これ見ると相当のページ数になります。ですからそれを全部掲載するのではなくて重要事項を抜粋していきたいと考えております。具体的には旧洞爺村は香川県からの集団移住、これが明治20年、1887年になりますのでそれ以降、旧虻田町は和人の定住、寛政12年1800年なんですけどもそれ以降となります。

第3案は旧町村史に掲載されている年代全てを対象とするものでございます。これも全て記載するのではなくて主要な事項を抜粋すると考えてございます。

平成の大合併、平成18年の合併以降は洞爺湖町としての年表になり、内容も町内の主な出来事、国等の主な出来事を掲載します。また写真も限定ながら載せていきたいと考えてございます。

資料1をご覧ください。各案の年表のサンプルイメージを作ってみたものでございます。第1案では町村史発行以降ということで、洞爺については昭和51年発行ですのでその前の年、昭和50年から書き始めてございます。中略の後に物語虻田町史とあるんですけど、平成13年から平成15年の発行ですので平成13年から書き始めてるというものでございます。

次のページの合併以降については、洞爺湖町として1つの系列という形で考えていきたいと思っております。

3ページが、第2案の資料でございます。旧町村の開基以降ということで表をみていただきますと寛政12年、1800年、これが虻田への和人定住、開基としてございますのでそこから書くこととなります。

真ん中から下の方に洞爺への集団入植が明治20年ですので、そこから洞爺が入っていくということで、虻田と洞爺の2列併記になるという考えで、裏のページ4ページをめくっていただきますと途中で洞爺の分村というのが出てくるのですが、並列は変わりません。合併以降については、洞爺湖町の出来事について1列で記載していくこととなります。

次に第3案ですね。5ページが3案のサンプルになります。この地域に関係する出来事の記録から書き始めてございます。

安倍比羅夫の討伐、政庁を後方羊蹄しりべしに置くというところから書き始まって、ここから全て書いていくという考えてございます。他は2案と全く同じになってございます。

議案書の4ページの一番下にメリット・デメリットを記載しています。まず1案についてですけども、旧町村史と記載内容が重複しないことから旧町村の詳細な事項の項目を多く載せることができる。一方で旧町村史を開かなければ古い出来事がわからないということになります。しかも、現時点では旧町村史をデータ化をして公表するという計画は、まだ決まってない状況ということになります。

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

2案が和人の定住や集団移住というそれぞれに明確な出来事から書き始めるということになります。やはり古い出来事につきましては旧町村史を見なければならぬということになりますし、虻田・洞爺の限定的な事案というのは古い時代あまりないと考えてますが、文章全体が多くなると考えています。

第3案は地域の成り立ちが全体像として今回の町史の中で見られるということで理解しやすいと考えてますが、一方で掲載内容を単純に再掲載するのではなく、再チェックする必要があると考えると、多大な労力が必要になるのではないかと考えてございます。これについては2案以上に全体量が多くなると考えてございます。

次に5ページになります。公職者名簿になります。1案が前回の素案となります。

作成年を旧町村史の発行年以降に限定し、作成名簿の部分を下記の通りにいたします。1番から23番まで書いてございます。

第2案は、旧町村史の掲載分も含めて作成はするんですが、作成名簿区分は1案と同じ1番から23番までの区分で作るとということになります。第3案は2案と同じく旧町村史の掲載分も含めて作成するんですが、旧町村市の区分をそのまま引き継ぎます。ただし、合併後は1案の区分に限定するものです。

資料2、旧町村史と1案の公職者名簿比較表でございます。1案の公職者名簿というのを左側に書いてます。真ん中の列に洞爺村史に記載されている公職者名簿、右側に物語虻田町史に記載されている公職者名簿を記載していますが、バランスが取れてないというのがわかるかと思えます。内容的にも結構違います。

前回説明させていただいたんですが、両方になかったのが保護司という公職ですが、大臣委嘱委員ということでここに記載しています。

それと自治・防災のところに自治会連合会の会長、産業団体のところに洞爺まちづくり観光協会の会長、それから洞爺にはなかったんですけど、名誉町民というのを入れていきたいと考えています。

議案書の5にそれぞれメリット・デメリットを簡単に記載しております。1案のメリットは両町村統一した名簿になるんですが、古い公職者名は旧町村史を参照しなければならない。2案は旧町村分を含めて統一される形になりますが、1案の名簿区分以外は作成されない。3案は旧町村史区分が各町村で継承される一方で両町村のバランスがとれず、いろいろと問題がでるかなと考えています。

次に6ページ、3の統計資料につきましては、町が毎年発行している洞爺湖町の概要というのがあるんですが、これに詳しく記載されていますのでこれを基本に考えて、町史ではある程度概要に絞った形でいきたいと思ってございます。議案に記載しているような1から7の項目に絞り込みたいなと思ってます。4の選挙です。これは実はこれまでになかった項目なんですけども、選挙人名簿、それから各種選挙の結果を一覧にしてはどうかと考えています。それから5の合併後の財政状況ととなっております。これも今まで町史にはなかったんですけども決算一覧、財政状況について、洞爺湖町になってからの20年くらいを載せていきたいと思ってます。

以上が資料編の内容と考えておりますけども全体として100ページ程度と考えてるんですが実際に収まるのかは現時点ではわかりませんので、この方針で良ければ作業を進めていって、ある程度の目処が立った段階で改めて皆さんに協議させていただきたいと思ってます。以上です。

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

### 【委員長】

ありがとうございます。

編集方針の中で年表をどこから書き始まるのかというところで、先ほどメリット・デメリットはご説明いただきました。もう1つご判断いただきたいのが公職者名簿の様式についてです。この2つについて皆さんのご意見や判断をいただきたいと思っております。

まず、年表についてから皆さんにご意見をいただきたいと思えます。1案は合併後ということです。2案が各市町村の開基から、3案がこの地域の黎明期から始めるみたいなどころではあるんですが、前回の話し合いのときには、確か合併後からということだったですよ。

### 【事務局】

合併後ではなくて、それぞれの町村史のあるところからです。

### 【委員長】

そうでしたね。町村史の後を追って歴史を綴るというところでいいんじゃないでしょうかと思いますが、改めて全体感を見たときにそれでいいかどうかということの確認も含めてどうでしょうか？

### 【D 委員】

この資料を見させていただいたときに、1案でいいのではないかと思いました。A4判で100ページほどの予定で、町史の総体ページ数が530ページぐらい。そうすると資料編と合わせて630から40ページぐらいになってくるので、相当な厚さというかボリュームになってくる。全部を載せられたら素晴らしいものになるだろうけれども、ある程度制約された中での提案が一番最初にあったものですからそう考えると、ある程度簡略できるものは簡略していいのかなと思います。

当初、旧洞爺村、旧虻田町の空白のところは埋めようという話がありましたので、それをクリアしてなおかつ100ページ程度で収まる内容であればいいのですが、今提案されているボリュームを考えると厳しいのではと感じました。

1案で進めていただいた中で、まだまだ余裕があるというときには再考しながら、内容の途中変更もあるという柔軟な進め方でいいのではないかと考えます。

### 【委員長】

はい、ありがとうございます。D委員からご意見いただきました。

異論がある方がいらっしゃらなければ、その方針でよろしいですか。

### 【各委員】

異論なし。

### 【委員長】

なしということで、年表に関しては1案で書き進めて、出来栄を見て判断するというところでよろしく願いいたします。

次は公職者名簿ですね。これも3案あるありますけども、どれがよろしいかということ

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

ですよね。ご意見がなければ、1案でよろしいですか。

### 【各委員】

意見なし。

### 【委員長】

バランスが取れるという意味では1案がいいのかなと感じます。皆さんにも了解をいただいたということで、公職者名簿も1案で進めていただきたいと思います。

3の統計資料、4選挙、5合併後の財政状況についても触れるということも異論はありませんよね。

### 【各委員】

異論なし。

### 【D委員】

データの作成については、基準日というか何年何月現在と統一出来るものは統一して整理する、毎年変わってくるデータの的なものなので配慮が必要と感じました。

いろいろな調査資料やデータがある中で、最新のものを記載するのか、それとも前年度・前年くらいの時点でのものを記載するのかの整理が必要になると思いますので、ご検討いただければと思います。

### 【事務局】

資料編については自前で作成を考えていて、時間的に余裕があるかと思ったので、令和12年3月の発行予定の半年前ぐらいまでを考えていたのですが、やはり少し厳しいと思いますので、発行の1年前を1つの区切りとして考えていきたいと思っています。

### 【委員長】

あとはございませんか。なければ資料編の編集方針についてもこれである程度まとまりましたので議題は終わりです。最後に皆様から議題とは別にご意見やご要望がありましたらお聞きしたいと思います。特にありませんか。課長の方から何かありますか。

### 【企画財政課長】

今いただいた意見を事務局として取りまとめ、編さんに向けて取り組んでいきたいと思っておりますので引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

### 【委員長】

事務局からは何かありませんか。

### 【事務局】

次回、第2回目の編さん委員会は今のところ未定です。広瀬先生から近々、初稿が上がってくる予定ですが、それだけで委員会を開催するっていうのは難しいかもしれませんので、広瀬先生から上がってきたものを皆さんに郵送させていただいて、1回見ていただ

## 令和8年度 第1回洞爺湖町史編さん委員会

く。その他何件か上がってきた段階で、開催を考えていてまして、秋くらいにはと思っています。

### 【委員長】

皆さんには秋くらいにはと想定していただければと思います。

長時間に渡っていろいろ審議、協議、ご意見を賜りましてありがとうございます。本格的に編さんが始まったなという感じがします。また第2回目には、実際に書き上がったものも出てくると思いますので、一層皆さんの知見とか知識を活用させていただかないとまとまっていかないと思いますので、何卒よろしくお願いします。

以上をもちまして、令和8年度第1回町史編さん委員会を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。